

町民の思いを後世に伝える



明治44年に相差町の菅崎沖で、旧海軍の駆逐艦「春雨」が座礁し、多くの乗組員が亡くなった事故から99周年目の供養祭が11月24日、同町の菅崎園地で営われました。

この事故は44人が亡くなる大惨事となりましたが、事故を知った町民が総出で生存者の救出にあたり、多くの命が救われました。

式典の中で、中村幸照相差町内会長は「当時の町民が嵐の中、救助を行ったことは町民の誇りであり、後世に伝えていかなければならない」とあいさつし、参列者による献花などが行われました。

また、「春雨」を追想した歌「さらば星になれ」が歌手の鳳城朋美さんにより披露されました。

持てる力をしっかりと発揮します！



12月25日から大阪府で開かれるJOCジュニアオリンピックカップ全国都道府県対抗中学バレーボール大会に三重県代表として出場する鳥羽東中の下村晴紀君と中村初紀さんが12月13日、市役所を訪れ、市長に出場の報告をしました。

下村君は、リベロで選ばれ、「アタックを打てない分、レシーブを拾って試合の流れをつくりたい」と、中村さんは、レフトで選ばれ、「レベルの高いところで、しっかり自分の満足のできるプレーをしたい」と力強く抱負を語りました。

市長は、「鳥羽市民全員が応援しているので頑張ってください」と激励しました。

とばーがー全員集合！



「とばーがー」を販売する全店舗を一宮に集めた「第1回とばーがーフェスティバル」が11月23日、鳥羽駅前広場で開催されました。

このイベントには、多くの市民や観光客が集まり、名古屋や大阪からのバスツアーも企画され、約1万2千人が訪れました。

会場では、10店舗が各100個ずつ「とばーがー」を用意しましたが、販売開始前から長蛇の列ができ、約1時間で完売となる店舗も続出し、食材を急ぎよ取り寄せるなどして、最終的に約2,000個が売れる程の大盛況となりました。

まちの話題 旧号



保健福祉センターひだまりで12月5日、第9回ひだまりふれあい広場「障がい者の日記念事業」が開催されました。

この事業は、市障害者互助会が主催するもので、聴覚障がいがありながら、日本初の薬剤師免許を取得し、「昭和大学病院薬学部」に勤務する早瀬久美さんをお招きし、自らの経験談を交えた障がい者に優しい医療現場についての講演が行われました。参加者は早瀬さんのお話に熱心に聞き入っていました。

障がい者の日記念事業